

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 28 日 (2008.2.28)

【公開番号】特開 2002-218019 (P2002-218019A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 2 日 (2002.8.2)
 【出願番号】特願 2001-13777 (P2001-13777)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/00 H

H 0 4 M 1/00 V

H 0 4 M 1/725

H 0 4 B 7/26 1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 15 日 (2008.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

次に、この携帯型電話装置 1 の内部構成について図 2 を参照して説明すると、この携帯型電話装置 1 は、基地局との間でデータの送受信を行うためのアンテナ 2 1 と、例えば 4 相位相偏移変調 (Q P S K : quadrature frequency shift keying) されたデータを復調する復調部 2 2 と、時分割多元接続 (T D M A : time division multiple access) 方式等でチャネルコーディングされたデータより音声データ、オーディオデータ等を抽出すると共に送信するデータを同方式によってチャネルコーディングするチャネルコーディング部 2 3 と、送信するデータを 4 相位相偏移変調等の方式により変調する変調部 2 4 と、装置本体 2 が留守番電話に設定されたときに発信制御チャネルを用いて留守番電話設定信号を発生する留守番電話設定信号発生部 2 5 と、着信用制御チャネルより着信を検出する着信検出部 2 6 とを備える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

オーディオ用コーデック 3 5 は、オーディオデータをサーバ装置よりダウンロードしたときに、チャネルコーディング部 2 3 で抽出されたオーディオデータが入力されたときやデータ I / F 3 4 よりオーディオデータが入力されたときに、所定の形式でエンコードし、メモリ I / F 3 6 に出力する。また、オーディオ用コーデック 3 5 は、IC カード 9 に記録されているオーディオデータを再生するとき、メモリ I / F 3 6 より入力されたオーディオデータをデコードしてオーディオ用スイッチ 3 7 を介してミキサ 2 9、遠隔操作装置 3 の I / F 3 8 等へ出力する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

なお、オーディオ用コーデック 3 5 は、A T R A C 3 (Adaptive TransformAcoustic Coding 3: 商標)、M P E G - 2 A A C (Moving Picture Expert Group 2 Advanced Audio Coding: 商標)、M P 3 (MPEG-1 Audio Layer3: 商標)、T w i n V Q (Transform-Domain Weighted Interleave Vector Quantization: 商標)、M S A u d i o (W M A :Windows Media Audio: 商標)、O g g V o r b i s (商標)等の方式でオーディオデータをエンコードし、デコードする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 図面の簡単な説明

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明が適用された携帯型電話装置の外観斜視図である。

【図 2】 上記携帯型電話装置の内部構成を説明するためのブロック図である。

【図 3】 オーディオデータの再生中に着信があったとき通話よりオーディオデータの再生を優先するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図 4】 オーディオデータの再生中に着信があったときオーディオデータの再生より通話を優先するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図 5】 オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータの再生を優先するか通話を優先するかを選択するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図 6】 オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータを聞きながら通話を行うときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図 7】 オーディオデータの再生中に着信があったとき、オーディオデータの再生を優先するか通話をしながらオーディオデータを聞くかを選択するときの手順を説明するためのフローチャートである。

【図 8】 通話中にオーディオデータを聞くときの手順を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

1 携帯型電話装置、2 装置本体、3 遠隔操作装置、4 操作面、5 スピーカ、6 マイク、7 表示部、8 操作部、9 ICカード、10 挿入口、11 データ入出力端子、12 接続端子、13 イヤホン、14 遠隔操作部、15 マイク、16 接続コード、17 表示部、18 操作部、21 アンテナ、22 復調部、23 チャネルコーディング部、24 変調部、25 留守番電話設定信号発生部、26 着信検出部、29 ミキサ、30 スピーカ用スイッチ、31 マイク用スイッチ、35 オーディオ用コーデック、37 オーディオ用スイッチ、39 コントローラ

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 図 2 】

